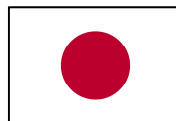




アグアスだより



令和8年度7月号
令和8年7月1日(水)発行

6月27日(土) オープンスクール

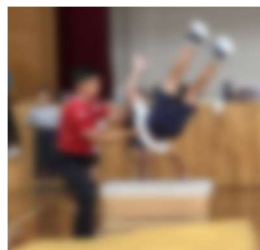
お忙しい中、たくさんの皆様に御来校いただきまして、誠にありがとうございました。今回は、本校保護者の皆様、理事の皆様、マイリトルサンシャインの保護者の皆様、本校への編入学を御検討中の方々が御参観くださいました。改めて皆様に感謝申し上げます。

普段は1時間の授業参観ですが、今回のオープンスクールは4時間の授業公開でした。いつもより多くの場面で、いつもより長い時間、児童生徒が頑張っている姿や活躍している姿を御覧いただけたのではないのでしょうか。

子どもたちの意欲と成長は、周りの環境に大きく左右されます。教員は子どもたちが楽しく・分かる授業作りを大切に、保護者の皆様をはじめとする周りの大人は子どもたちの頑張りを大いに認め励ますことを大切にしてきたいものです。今回のオープンスクールが、そのような機会となっていましたら大変嬉しく思います。

今後も、開かれた学校を实践し、本校の教育活動への御理解を一層深めていただけるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

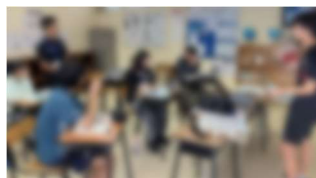
(教頭 大内 紀子)



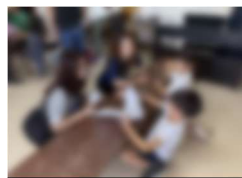
跳び箱で大技に
挑戦する6年生



顕微鏡から見えるミクロの世界
を楽しむ参観者の皆様



一人一人がとても流暢な
英語で発表していた中学3年生



おつりの計算が完璧な
1年生の店員さん

「先輩は語る」講演会

「先輩は語る」講演会は、『様々な方面で活躍している方の話を聞き、グローバルな視点と将来への希望や夢を育成する』ことをねらいとしています。毎年、年に2回ずつ実施しています。

今年度の第1回目は、マイリトルサンシャイン代表 平野梓氏を講師にお迎えし、6月27日(土)オープンスクールの日に開催いたしました。マイリトルサンシャインを始めてから今日に至るまでの経験などを語ってくださいました。「**できないことは勉強してみる。でもできなくても大丈夫。苦手があっても大丈夫。挑戦し続ければ、自分にしかできないことが見つかる。好きなことにチャレンジして行こう。**」と語ってくださいました。

児童生徒は目を輝かせながらお話に耳を傾けておりました。これまで、失敗を恐れて挑戦を避けてきた子どもたちも、様々なことに挑戦してみようという思いを抱いたようです。

このような貴重なお話を聞かせてくださった平野様に心より感謝申し上げます。



7月行事予定

- 1日(火) 全校朝会
 - 2日(木) 修学旅行(小6・中3グアナファト方面~3日)
 - 3日(金) 遠足(小1~5・中1~2 パルケエロエス)
 - 7日(火) セタ集会・PTA 図書貸出日 **(返却のみ)**
 - 8日(水) 前期クラブ④
 - 9日(木) PTA 絵本の会
 - 10日(金) 個別面談(~14日)
 - 16日(木) 大掃除・PTA 図書貸出 **(夏休み特別貸出) 5冊**
 - 17日(金) 夏休み(~8月10日)
- 補充学習(20日、8月10日)

今年度の研究について

本校では、「国際性豊かで『知・徳・体』の調和がとれた児童生徒の育成」を教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。異国の地メキシコで学ぶ子どもたちが、変化の激しいこれからの社会をたくましく生き抜いていくためには、確かな学力を身に付けるとともに、多様な人々と関わりながら自分の考えを表現し、協働して課題を解決していく力を育むことが大切です。その実現に向けて、本年度も校内研究を推進し、教職員が協働しながら授業改善に取り組んでいます。

本校は小規模校という特性から、子どもたち一人一人が発表する機会に恵まれています。しかし、学校評価アンケート等からは、自分の考えをまとめて自信をもって発表することや、友達の考えを受けてさらに考えを深めることに課題が見られました。また、小学部では表現への意欲は高いものの、考えを整理して相手に分かりやすく伝える技能の育成が課題となっています。そこで本年度は、宮崎県串間市教育研究所の研究を参考に、研究主題を「豊かな表現力を身につけ、主体的に学び合う児童生徒の育成 ～『比較すること』を取り入れた学習指導を通して～」とし、表現力を育み、主体的に学び合う児童生徒の育成を目指すこととしました。

本研究でいう「豊かな表現力」とは、単に自分の考えを話したり書いたりする力だけではありません。相手の考えを正しく理解し、自分の考えとの共通点や相違点を踏まえながら、自分の言葉で分かりやすく伝える力のことです。また、「主体的に学び合う」とは、課題をつかみ、追究し、他者との対話を通して考えを深め、学びを価値付けるまでの過程における、自ら進んで取り組んでいく姿を指しています。

研究の中心となるのが、「比較すること」を取り入れた学習指導です。「比較すること」を学習活動の中に意図的に位置付けることで、自らの考えを深め、主体的に学び合う力を育てることを目指しています。学習の中で比較する対象として、本校では「過去との比較」と「他者との比較」の二つを重視しています。「過去との比較」では、これまでに学習した内容や自分の経験と、新たな学習内容を比べることで、課題意識や見通しをもたせます。「他者との比較」

では、自分の考えと友達の考えを比べることで、多様な見方や考え方に触れ、考えをより深めていきます。

授業では、「課題をつかむ」「課題を追究する」「他者と比べ深める」「価値づける」という学習の流れを意識しながら、「何と何を比較するのか」を明確にした学習活動を展開しています。また、「〇〇さんと同じで」「〇〇さんと違って」「前の学習では～だったけれど今回は～だった」など、比較を意識した表現の仕方を継続的に指導することで、話す力だけでなく、相手の考えを聞き取る力の育成にもつなげていきます。

さらに、本校では昨年度から継続して振り返り活動を大切にしています。「わかったこと」「かんがえたこと」「ともだちから学んだこと」「もっと知りたいこと」の四つの視点から振り返る「わかとも」に取り組んでいます。学習のまとめが学級全体の学びを整理する活動であるのに対し、「わかとも」は一人一人が自分の学びを振り返る活動です。自分が何を学び、どのように考え、友達から何を学び、次に何を学びたいのかを言葉にすることで、学びを確かなものにし、次の学習への意欲につなげています。

授業研究では、全教職員が研究授業を行い、研究主題に基づいた授業実践と協議を重ねながら授業改善を進めています。教職員が互いの実践から学び合うことで、学校全体の指導力向上を図っています。

さらに、本年度は隣接するフランスス校との連携を生かした教職員研修も実施していく予定です。本校職員がフランスス校を訪問し、授業参観や意見交換を行うことで、異なる教育環境や指導方法に触れ、新たな視点から授業づくりを見直しています。海外という環境だからこそ可能な学びの機会を積極的に活用し、教育実践の充実につなげていきます。

こうした校内研究と研修の積み重ねを通して、自分のこれまでの学びや他者の考えと比較しながら、自らの学びを深め、主体的に学び続けることのできる児童生徒の育成を目指しています。今後も教職員一同、子どもたち一人一人の成長に寄り添いながら、学びに夢中になれる学校づくりを進めてまいります。

(校内研修担当 白石 莉菜)

理事企業の皆様に支えられています

アグアスカリエンテス日本人学校は、理事企業の皆様により運営されています。

理事企業の皆様には、毎月、学校運営に必要な資金面での御支援をいただくとともに、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる教育環境づくりのため、学校運営全般を支えていただいています。

また、教育活動や施設・設備の状況を定期的に確認し、学習環境に不足はないか、安全に学校生活を送ることができるかなどについて、学校と連携しながら必要な支援や助言をいただいています。

本校の教育活動は、子どもたちの成長を願い、学校を支えてくださる理事企業の皆様によって支えられています。心より感謝申し上げます。

Advanced Composites Mexicana	様	
Ahresty Mexicana	様	
COMPAS	様	
FUJITA	様	
JATCO	様	
K&S MEXICANA	様	
Metal One Steel Service de Mexico	様	
NISSAN Mexicana	様	
NTN de Mexico	様	
Sanoh Industrial de Mexico	様	
SAN-S Mexicana	様	
TACHI-S Mexico	様	
UNIPRES Mexicana	様	
YOROZU Mexicana	様	